

う え だ 市議会だより

令和2年3月定例会
令和2年5月16日号

No.77



マチイロ
マチを好きになるアプリ



Android 版



ios 版

表紙デザインコンテスト『議長賞』受賞作品
作品名：「山里の春（上田市武石余里）」
撮影者：倉沢 正さん

会期	2 / 21 から 3 / 18 まで (27 日間)
議案数	条例案 12 件、予算案 19 件、事件決議案 5 件、人事案件 1 件 合計 37 件を全て可決または適任と決定
一般質問	(代表質問) 5 会派 (個別質問) 20 人 合計 25 人の議員が登壇し、市政の課題について活発な議論が交わされました。

条例

中小企業・小規模企業振興に関する条例の制定など全 12 件

可決

◆「中小企業・小規模企業振興条例制定」

地域の発展に向けた中小企業・小規模企業振興の取り組みを総合的に推進していくため、基本理念や市の責務など必要な事項を定めるもの

◆「交通安全条例中一部改正」

交通安全対策の効果的な推進に向け、交通安全対策協議会の設置について、必要な改正を行うもの

◆「国民健康保険税条例中一部改正」

令和 2 年度の国民健康保険税率を改定するなど、必要な改正を行うもの

【その他可決した条例】

- ・市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例中一部改正
- ・印鑑登録及び証明に関する条例中一部改正
- ・手数料条例中一部改正（市民まちづくり推進部担当分）
- ・災害弔慰金の支給等に関する条例中一部改正
- ・技術研修センター条例中一部改正
- ・道路の構造の技術的基準等を定める条例中一部改正
- ・手数料条例中一部改正（都市建設部担当分）
- ・放課後児童クラブ条例中一部改正
- ・体育施設条例中一部改正

人事案件

人権擁護委員の推薦（敬称略）

小林 慎一（片羽）

事件決議

東日本台風災害の復旧工事に係る請負契約の締結など全 5 件

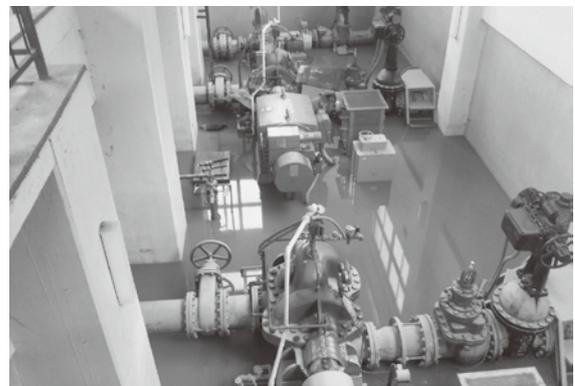
可決

◆上田地域広域連合ふるさと基金に係る権利の一部を放棄することについて

令和 2 年度に実施する地域医療対策事業に充当するため、ふるさと基金に対する出資金のうち、一部を権利放棄することについて、議決を求めるもの

◆国庫補助災害復旧事業揚水機場復旧工事（川西 2 地区）請負契約の締結について

令和元年東日本台風によって水没故障した、農業用水の送水用ポンプ復旧工事に係る請負契約の締結について、議決を求めるもの



水没した川西揚水機場（農業用水の送水用ポンプ）

【その他可決した事件決議】

- ・導水管閉塞工事による物損事故に係る和解について
- ・特定天井耐震化事業 丸子文化会館天井改修工事請負契約の締結について
- ・公共土木施設災害復旧工事（横沢角間線）請負契約の締結について

目次

3 月定例会の概要	2
常任委員会の審査概要	4
25 人の議員が市政を問う	6
陳情の審査結果	17

臨時会の開催結果	18
議会報告会・防災シンポジウムを開催	19
表紙デザインコンテスト選考結果	20

3月定例会の概要

令和2年度
予算

合併後最大

753億9,900万円

一般会計予算

可決

一般会計予算の主な事業をピックアップ

市庁舎改修・改築事業

◆本庁舎改築関係

- ・ 本庁舎改築事業 51億6,119万円
新本庁舎建設等工事費など
- ・ 本庁舎移転事業 2億6,160万円
新庁舎用什器購入費など

- ◆丸子地域自治センター整備事業 3億6,529万円
南棟耐震化、大規模改修工事に係る経費



新本庁舎イメージ図

- ◆武石地域総合センター整備事業 7億9,348万円
本体や外構工事に係る経費及び武石産木材の原材料費など

主な新規事業

- ◆災害ハザードマップ更新事業 987万円
令和元年東日本台風災害を踏まえた指定避難所の見直し等を実施するための経費

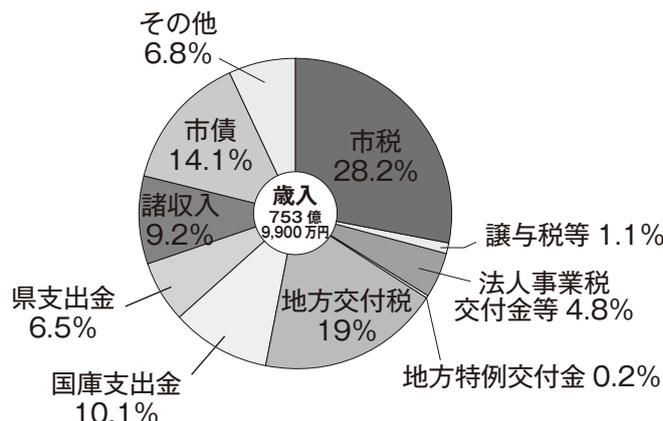
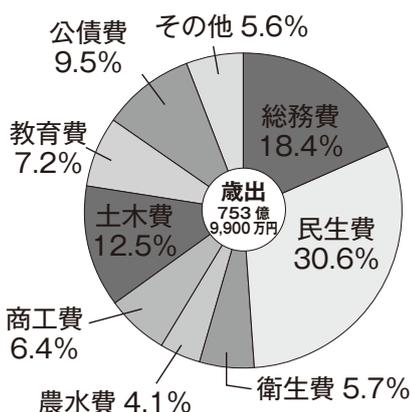
- ◆産後ケア事業 149万円
助産師が退院直後の母子に対し、心身のケアや育児サポートを実施するための経費

- ◆活力あるまちづくり支援金事業 500万円
市民活動団体が実施する活力あるまちづくりに資する事業に対し支援するための経費

- ◆空家等対策推進事業 650万円
老朽危険空家の解体等に対する補助金

- ◆スマートシティ推進事業 1,019万円
スマートシティ化推進に係る計画策定経費など

グラフで見る一般会計予算



予算の概要は上田市ホームページからもご覧いただけます。



総務文教委員会

●3月6日、9日及び18日に開催し、条例案3件、予算案3件、事件決議案2件の審査を行いました。

令和2年度一般会計予算

問 令和元年度の政策アドバイザー報酬は100万円であるのに対し、令和2年度は150万円を計上しているが、報酬の増額理由はどうか。

答 令和元年度は当初の予定になかったステップアップ研修を行った中で、令和2年度も政策提案につなげるために、内容を充実させて実施する予定である。このため、政策アドバイザー

ザーの活用日数や時間が増えることから増額している。

問

自主防災組織資器材購入補助金は、東日本台風の被害状況を踏まえ、補助金の上限額と補助率を令和2年度から4年度までの3年間の時限措置として引き上げることだが、時限措置を設けた理由は何か。

答

自主防災組織が必要とする資器材を整備することで、組織の強化や地域防災力の向上につながるができることから、早期の整備を推進するために時限措置としている。

産業水道委員会

●2月21日、3月10日及び11日に開催し、条例案2件、予算案8件、事件決議案1件の審査を行いました。

令和元年度一般会計補正予算

問 令和元年東日本台風により被災した番所ヶ原スキー場の復旧経費を計上しているが、公共施設の維持に多額の費用が必要となる中、スキー場の在り方については十分な議論をするべきと考えるが、見解はどうか。

答

練馬区にスキー教室の会場として利用していただいている他、近隣には練馬区立武石少年自然の家があることから、ス

キー場の有無は練馬区との交流の在り方にまで影響を及ぼすため、練馬区とも慎重に協議を行い、市においても十分な議論を行っていききたいと考えている。

番所ヶ原スキー場の災害復旧事業に関する附帯意見

1. 災害の影響を受けやすい地形等のリスクを十分に考慮して、復旧工事を行うこと。
2. 主な利用者の練馬区と復旧後の利用について十分協議をしているとは認められないため、練馬区の意向を正確に把握しながら協議を行い、その上でスキー場の在り方について十分検討を行うこと。

常

任

委

員

会

の

審

査

概

要

●3月6日及び9日に開催し、条例案2件、予算案8件、事件決議案1件、陳情1件の審査を行いました。

令和2年度一般会計予算

問 認知症高齢者等の個人賠償責任保険の保険料を計上しているが、加入を予定している保険の補償限度額の上限や対象となる事例はどうか。

答 補償限度額は1億円で、対象となる事例は法律上の賠償責任が発生する場合を想定している。

また、保険の加入対象者は、認知症見守りネットワークに登録している方で、若年性認知症の方も想定している。

問

里帰り出産や入院等の理由により、県外の医療機関で定期予防接種を受けた場合の費用を助成するための補助金を新たに計上しているが、補助金の支給方法はどうか。

答

接種した子の保護者が予防接種の費用を医療機関に支払うことから、市に費用助成の申請を行う償還払い方式である。

●3月10日、11日及び18日に開催し、条例案5件、予算案6件、事件決議案1件、陳情1件の審査を行いました。

令和2年度一般会計予算

問 第9回資源循環型施設検討委員会終了後、住民への説明会を行うとのことだが、どのように行うのか。

答 検討委員会の結果を上田地域広域連合長に報告した後、住民の皆さんに周知をするための説明会を開催したいと考えている。建設候補地周辺で自治会ごとの説明会を行いたいと考えているが、実施に当たっては

地元関係者の皆さんと協議をして決定したい。

問

老朽危険空家解体・利活用事業補助金の対象となるのは、どのような空き家であるか。

答

上田市空家等対策計画で定め、老朽化が著しいCランクの空き家である。これは法律等に規定する不良住宅について、老朽化に応じて点数化した結果が100点以上の家屋等が該当する。なお、見込み件数は、平成28年度の調査により把握したCランクの空き家98戸を想定している。

25人の議員が市政を問う

3月定例会一般質問要旨

3月定例会では、一般質問を3月2日、3日、4日の日程で行いました。

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

市長…市長	教育長…教育長
政策研究…政策研究センター長	政策企画…政策企画部長
総務…総務部長	財政…財政部長
市民まち…市民まちづくり推進部長	生活環境…生活環境部長
福祉…福祉部長	健康こども…健康こども未来部長
商工観光…商工観光部長	農林…農林部長
都市建設…都市建設部長	丸子センター…丸子地域自治センター長
教育次長…教育次長	

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。
質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館及び上田市議会ホームページからご覧いただけます。
なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により、生放送および録画放送を行っています。

氏名の横の会派名は、3月定例会時点の所属会派となります。



総合計画を初めとする各種計画

代表質問 尾島 勝 (新生会)

問 今後策定する各種計画は、明確なターゲットや高い数値目標を設定し、達成に向けてチャレンジしていく考えはあるか。

答 (市長) 総合計画後期まちづくり計画に総合戦略を一体化することから、総合計画の数値、目標値と併せて、総合戦略に義務付けられる重要業績評価指標を掲げることとしており、より明確で効果的な数値及び目標値も含めて示していく。その他の計画についても、明確な指標項目や数値設定を行い、より高い目標にチャレンジする意気込みで位置付けていく考えである。

行財政改革

問 行財政改革を含めた大胆な施策を打ち出すための市長直轄組織が必要と考えるが、どうか。

答 (市長) 第四次行財政改革大綱の策定を進める中で、効果的かつ迅速に改革を推進していく必要がある場合は、市長直轄組織の必要性も含め、専門部署の設置などについて検討していく。

問 都市計画区域の設定は現状のままでよいと考えているか。

答 (市長) 都市計画区域の変更には様々な課題があるため、研究を進めながら慎重に見極めていきたい。

資源循環型施設建設

問 市長任期中に何をどこまで進める考えか。

答 (市長) 曲げる事無く覚悟をもって取り組み、地域住民との信頼関係を大切にしながら、任期中に可能な限りの事業の前進に取り組む。

●その他の質問項目

1. 東日本台風後の災害対応



市長の政治姿勢

代表質問 佐藤 清正 (社志会)

問 市長公約の上田再構築プランは、市民に浸透してきていると捉えているか。

答 (市長) 柔軟な再構築の視点は、浸透しつつあるものと受け止めている。

問 新たに取り組むべき課題をどう捉えているか。

答 (市長) AI、IoT等の先端技術の導入支援など、戦略的、創造的な視点で未来志向型の上田市を目指すべきと認識している。

新年度予算と市の財政

問 大型事業の実施により投資的経費が著しく増加しているが、今後の市債の推移はどうか。

答 (財政) 庁舎建設や災害復旧等に伴い一時的に発行額は増加するが、過去の起債償還も順次終了するため、今後数年間はほぼ横ばいの690億円程度で推移する見込みである。



市長の政治姿勢

代表質問 久保田 由夫 (日本共産党)

問 岡谷市では過去の豪雨災害を受けて「防災・減災基本条例」を制定しており、上田市でも制定を検討すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (市長) 地域防災力のさらなる向上のためどのような取り組みが有効か、災害検証も踏まえながらまずは研究させていただきたい。

問 「改革すべきは改革し、継続すべきものは磨き上げる再構築の視点」とは何か。また、当初予算にどのように反映しているか。

答 (市長) 全事業の今日的意義や役割、手法の適正性や民間等への移管可能性などについて柔軟な視点から再考するもの。当初予算では、わがまち魅力アップ応援事業の新規募集を終了し、県の支援金の対象外となる小規模な事業を対象とした新たな補助制度を創設した。

問 中小企業・小規模企業振興条例の活用は。

中小企業・小規模企業振興条例

問 条例制定の背景と対象事業所数はどうか。

答 (商工観光) 中小・小規模企業の支援強化に関する法改正の他、平成30年12月に市内3商工団体から条例制定を求める要望書が提出されるなど、産業界において機運の高まりがあったものである。対象となる中小企業は約5,100社、その内小規模企業は約4,500社で市内企業の約99.8%を占める。

上小地域の医療と上田市の役割

問 市立産婦人科病院での院内助産に対する考えはどうか。

答 (健康こども) 国でも推進している院内助産への転換は、公立病院としての在り方を考える上で、一つの手法として捉えられる。

●その他の質問項目

1. 内村橋の早期復旧と迂回路の確保

答 (市長) 条例を踏まえて商工業振興プランの見直しを行うため、新年度予算に検討委員会の開催経費を計上している。実効性のある施策を策定し、検証を行いながら、中小・小規模企業振興施策を効果的に展開する。

問 交流文化芸術センター運営検証委員会からの答申をどのように受け止めているか。

答 (市長) 答申にある常設の運営検証組織については、今後6月定例会において設置条例並びに関係予算を上程できるよう準備を進める。

問 気候非常事態宣言をする考えはあるか。

答 (市長) まずは長野県の気候非常事態宣言に賛同し、市としての宣言等は前向きに検討していく。

●その他の質問項目

1. 持続可能な社会(地域)づくり
2. 教育行政
3. 子どもの貧困対策
4. 公共交通



上田市政策研究センター

代表質問 南波 清吾 (上志の風)

問 センター長は1年間の取り組みをどのように評価しているか。また、市政に反映した施策は何か。市長の評価はどうか。

答 (政策研究) 政策調査研究事業では、地域課題の把握に当たり、現場に足を運び現地の状況を見て、生の声を聴くことを大切にして取り組んできた。また、国や先進自治体等の動向把握を行うとともに、庁内プロジェクトチームを設置し、先端技術を活用して解決すべき地域課題や地域の強みを抽出して検討してきた。令和2年度は、関係団体や住民等の理解が得られる分野から実証事業等の実施に向けた検討を行う他、市全体のスマートシティ化の推進につながる計画策定をしていく。

職員政策形成能力開発事業では政策形成セミナーを4回開催し、今後の政策形成に向け

て有意義な研修になったと認識している。令和2年度は、フィールドワーク等を含めたより実践的な研修を計画している。今後も積極的に情報収集をし、庁内連携や民間事業者との連携に向けた支援を行うなど、事業実施に向けた道筋づくりに取り組んでいく。

答 (市長) **スーパーシティ**構想は令和2年度の早い時期に募集開始が見込まれ、時間的に厳しい状況であることから、関係団体や住民の理解を得られる分野から段階的に先端技術活用を進めることが現実的であると考えている。地域課題の解決に向け先端技術を活用し、着実にスマートシティ化の取り組みを進める。

●その他の質問項目

1. 令和2年度当初予算編成
2. 市長の政治姿勢
3. 市所有の東山利活用
4. 令和元年東日本台風
5. 市庁舎の建設



新型コロナウイルス感染症

代表質問 半田 大介 (公明党)

問 上田地域で感染者が発生した場合の対応はどうか。

答 (健康こども) 平成20年に策定した新型インフルエンザ対策行動計画に準じて対策本部を設置した。この行動計画は、実施体制、サーベイランス(発生状況の監視)・情報収集、予防・蔓延防止、市民生活及び市民経済の安定の確保など主要7分野について、6つの発生段階ごとに対策の考え方や体制、実施内容を定めている。この計画を基に感染防止に必要なとなる物品等の備蓄も行っている。

防災・減災予算と災害検証

問 自治会単位の防災訓練と図上訓練をさらに推進する方策はどうか。

答 (総務) 毎年開催する自主防災組織リーダー

研修会において各種訓練を紹介するとともに、長野県自主防災アドバイザーと連携して訓練の相談に当たり、全ての自治会や自主防災組織で図上訓練を含む防災訓練が実施できるように取り組む。

官民連携と地方創生

問 内閣府デジタル専門人材派遣制度による外部人材登用の目的は何か。

答 (政策研究) 市全体のスマートシティ化の推進につながる計画を策定するため、情報通信関連企業の専門人材が持つ知見やネットワークを活用していきたいと考えている。

●その他の質問項目

1. 行財政改革における市施設管理と市の組織体制
2. 生ごみ減量化と食品ロス



ゴミ処理

渡辺 正博 (日本共産党)

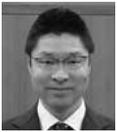
問 生ごみリサイクル研究委員会や資源循環型施設検討委員会などで議論してきた内容がまとめ、今後住民説明会を開催した場合は、これまでの見通しが立たないことを理由とした環境アセスメントの未実施とは条件が異なってくると思うが、見解はどうか。

答 (市長) 資源循環型施設検討委員会では、安全安心を将来に渡って保証する計画づくりのため、地域住民や学識経験者、行政による真

剣な協議が行われてきた。現在は、環境負荷の少ないコンパクトな施設とするため、ごみ減量や再資源化、環境対策などの基本的な考えに関する協議結果の取りまとめに向けた最終段階にある。まずは、資源循環型施設建設候補地周辺の地域住民の皆様を検討委員会での協議結果の説明を行い、その後、広く市民の皆様へも説明を行う考えである。今後とも私が先頭に立って、資源循環型施設建設に向けた取り組みを進めていく。

●その他の質問項目

1. 上田市農業の「多様な担い手」の育成・確保対策



別所線と公共交通

斉藤 達也 (新生会)

問 別所線の損益分岐点となる利用客数はどうか。

答 (都市建設) 平成 30 年度の経常損失約 3,000 万円を損失ゼロとするためには、30 年度の輸送人員実績である 129 万 9,000 人を 145 万人まで増加させる必要がある。

問 市がリーダーシップを発揮し、路線バスと重複する路線の見直しなどを検討できないか。また、公共交通のあるべき姿は、タクシー業界や市民も交えながら検討すべきではないか。

答 (都市建設) 総合計画後期まちづくり計画の審議会において、東日本台風の災害を教訓として、鉄道やバス、タクシーの各交通事業者が緊急時に参集し、対策等を検討する場の設置、いわゆる事業者のプラットフォームづくりが求められている。また、市民や事業者、行政が共同経営者として公共交通の在り方を議論できるよう、事業者のプラットフォームづくりと併せて、検討していきたい。

●その他の質問項目

1. 令和 2 年度当初予算編成における歳出削減と歳入確保策

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

3月定例会本会議の傍聴者数は延べ 37 人でした。

傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

- 緊張感のある中で質疑応答が行われており、市民として安心した。(30代)
- 傍聴者を多くするため議員は複数人を議会に招き、傍聴してもらうことを提案する。
(70代・男性)
- 興味のある内容について、具体的な対策がわかり良かった。(30代)



気候変動問題と対策

金沢 広美 (公明党)

問 二酸化炭素排出量を2030年までに40%削減する目標を掲げているが、具体的な計画はどうか。

答 (生活環境) 市有施設への省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの導入等に取り組む。太陽光発電及び太陽熱利用システムについては、**信州屋根ソーラーポテンシャルマップ**を活用し、設備導入の検討を行っている。

問 地球温暖化対策に積極的に取り組む首長、自

治体であることを表明する「世界首長誓約／日本」に対する見解はどうか。

答 (市長) 全国22の自治体の首長が誓約しており、県内では松本市と高山村が誓約に基づき気候変動対策に取り組んでいる。誓約に当たっては、国の温室効果ガス排出削減以上の目標設定など、野心的な行動計画の策定を要するものである。低炭素社会を目指し様々な行動を起こしていくことが必要であると感じており、気候変動への緩和策や適応策について、前向きかつ積極的に取り組んでいく。



上田再構築のビジョン

飯島 伴典 (上志の風)

問 政策研究センターの研究成果を踏まえた政策は、当初予算に反映しているか。

答 (政策研究) 令和2年度は、課題解決に向け優先的に実施すべきと評価した事業について、実証事業等の実施を検討していく他、その他の事業も含め市全体のスマートシティ化の推進につながる計画を策定していきたいと考えている。このため、計画の策定経費を計上した他、実証事業等の実施や計画の策定に

向けて内閣府のデジタル専門人材派遣制度の活用を予定していることから、そのための関係経費を計上している。

問 「上田市スマートシティ化宣言」といった意思表示をする必要があると考えるが、見解はどうか。

答 (市長) 積極的にスマートシティ化に取り組んでいる姿勢を内外に発信することは、大切な視点であると考えている。「スマートシティ化宣言」は、京都府木津川市等で同様の宣言をしている。このため、動向や有効性を見極め、まずは検討させていただきたい。



国民健康保険

古市 順子 (日本共産党)

問 来年度の国保税が増加する被保険者や低所得者、子どもがいる世帯の割合はどうか。

答 (健康こども) 課税額が上がると見込まれる介護2号被保険者世帯は約40%、その内いずれかの軽減に該当する世帯が約22%、子どもがいる世帯は約5%である。

問 18歳未満3人目以上の子どもの均等割を全額減免した場合の対象世帯数や人数、減免額はどうか。今年度末時点で10億円以上の残高

が見込まれる国保事業基金を活用した減免制度を検討すべきと考えるが、見解はどうか。

答 (健康こども) 対象世帯は229世帯、293名、減免額は約600万円である。今後県全体で保険税水準を統一する動きもあり、現段階では市として新たな減免や軽減を行う考えはない。

問 短期保険証の窓口留保は一昨年10月1日で211件あったが、昨年10月1日の件数はどうか。

答 (健康こども) 一切連絡がない方を中心に窓口交付対象者としており、35件であった。

●その他の質問項目

1. 住宅政策



キリンググループと上田市との連携

金子 和夫 (新生会)

問 キリンググループと締結した、ワイン産業振興を軸にした地域活性化に関する包括連携協定の内容はどうか。

答 (丸子センター) シャトー・メルシャン椀子ワイナリーのオープンを絶好のチャンスと捉え、世界の銘醸地として認められるべく、キリンググループ4社の事業活動を通じ、上田市や地域の団体との連携を深めて地域文化の醸成、環境保全、地域人材の育成、教育など様々

な分野において、上田市の発展につなげる8項目を掲げ連携、協力することとしている。

問 公立大学法人長野大学とメルシャン株式会社との連携協定の内容を把握しているか。

答 (政策企画) 将来の理工系学部における発酵学の設置を視野に入れ、両者において共同研究開発や教育、人材育成に関する活動を通じて、社会への貢献や新たな価値提案を行うための協定締結であると把握している。

●その他の質問項目

1. ルートインホテルズブリリアントアリーズへの支援と地域との交流
2. 大屋駅周辺の渋滞緩和策



新型コロナウイルス感染症への市の対応

林 和明 (新生会)

問 市内の小学校や中学校では、どのような感染症対策を行っているか。

答 (教育長) 児童生徒に対して感染症の基本的対策としての手洗いやうがい、せきエチケットなどの徹底、日常の健康管理や発熱等の症状が見られる場合の対応、教室の小まめな換気など、適切な環境を保持することなどを各学校に指導してきた。

また、感染症対策に関わるポスターを各学年の手洗い場や洗面所等に掲示するなど、感染症予防の徹底について啓発を行ってきた。さらに保護者の皆様には、毎日児童生徒の体温を測定し、風邪や発熱、せき、倦怠感、息苦しさの症状の有無など健康観察を徹底していただくよう依頼をしている。

●その他の質問項目

1. 地域コミュニティ FM
2. パソコン等の適切な処分

上田地域市町村議会議員研修会

研修会レポート

1月23日に「上田地域市町村議会議員研修会」を上田高砂殿において開催しました。

この研修会は上田市議会が主催し、上田地域定住自立圏を形成する構成市町村(上田市、東御市、長和町、坂城町、立科町、青木村、群馬県嬭恋村)の議員約100名を対象として毎年開催しています。

今回は、公立大学法人長野大学社会福祉学部の合田盛人准教授を講師にお迎えし、「環境にやさしい農業と福祉の連携」について研究の成果をご紹介いただきながらご講演いただきました。

出席議員からは質問や意見が多数出され、充実した研修会となりました。





公共サービスの民営化

成瀬 拓 (日本共産党)

問 公共サービスの民営化については全国で様々な問題事例があるが、見解はどうか。

答 (総務) 公共施設の建設から維持管理、運営までを民間事業者に委ねる PFI 事業といえども、市が提供する公共サービスの一環であることに変わりはなく、市民に対する最終的な責任は市が負うものと認識しており、PFI 事業の選定は十分な検討が必要と考えている。

問 公共サービスの民営化については、慎重に検

討するべきと考えるが、見解はどうか。

答 (総務) 民営化については、需要があるか、同種のサービスを提供する事業者が存在するか、受益者負担を求めることができるかの観点から基準を定めている。競争性や透明性、公平性を確保しつつ相手方の選定に留意し、行政が直接実施すべきサービスは対象から除いた上で、民間にできることは民間に委ねるとの基本的な考えに基づき、今後も引き続き民間活力導入を進めていきたいと考えている。

●その他の質問項目

1. 自殺対策



令和元年東日本台風

宮下 省二 (社志会)

問 市が毎年実施する防災訓練に、新たに夜間訓練を導入する考えはどうか。

答 (市長) 夜間訓練は日中の訓練と異なった条件の中で、新たな視点から問題を浮き彫りにできる点で大変有効であり、活動従事者の能力向上につながるため前向きに検討したい。

問 自主防災組織の補助制度を拡充するが、ケーブルテレビ等の設置経費を対象としてはどうか。

答 (総務) 自治会等の要望を踏まえ、ケーブル

テレビといった災害情報を収集、伝達するための器具等資器材を補助対象へ追加することを検討している。

問 今回被災された城下地域の災害対応はどうか。

答 (都市建設) これまでもゲリラ豪雨により浸水被害が多発しており、水害対策として御所排水路整備事業を計画している。6年間で全体事業費6億2千万円、事業内容は諏訪形地区1カ所、御所地区2カ所の雨水調整池の整備等を予定している。

●その他の質問項目

1. 資源循環型施設建設
2. 公立大学法人長野大学



スマート林業への転換と林業振興

松尾 卓 (公明党)

問 林業振興を図るには経営環境の改善が必要であり、そのためには林地の正確なデータに基づいた施業へ転換するべきと考える。安価に林地の材積や地形の起伏等の正確なデータの収集が可能なレーザー計測導入を足掛かりに、スマート林業への転換を推進していく考えはあるか。

答 (農林) 本格的な利用期を迎えている森林資源の循環利用を進め、林業に関わる雇用環境

の改善や林業の成長産業化を実現していくためには、ICTなど先端技術の活用により林業イノベーションを推進し、スマート林業への転換を図ることは大変重要と考えている。今後、先端技術を林業の現場へ導入するため、森林環境譲与税等を財源に、ドローンや解析用ソフトの活用など、国、県の今後の動向を踏まえ、上小地域の3市町村や市内的林業事業体とも協力して、前向きに検討していく。

●その他の質問項目

1. 治水対策



上田氷灯ろう夢まつり

金井 清一 (社志会)

問 来場者からはどのような感想があったか。

答 (商工観光) 「店を散策しながらゆっくりライトアップを楽しめた」、「3色に移り変わるライトアップと氷灯ろうの自然の灯りが幻想的だった」等の感想をいただいた。また、外国人観光客が熱心に写真撮影をしている姿も見受けられ、温泉地のPRにつながったものと捉えている。

問 来年度以降も継続実施していく考えはあるか。

答 (商工観光) 来年の4月は善光寺で7年ぶりに御開帳が開催され、別所温泉では北向観音で約60年ぶりに御本尊の御開帳が行われる予定である。また、別所線千曲川橋梁の複旧工事の完了も同時期に見込まれることから、長野市との連携で誘客を促進する絶好のチャンスであると捉えており、地元の皆様の意向を伺いながら検討していく。

●その他の質問項目

1. 東日本台風による農業施設の被害に伴う復旧工事の状況
2. 認知症の高齢者等の見守り



第五中学校の改築

石合 祐太

問 令和2年度当初予算案に第五中学校改築関連費用の計上がないが、令和2年度の事業計画はどうか。

答 (教育次長) 令和2年度に予定している配置計画や基本設計は、市の技術職員が中心となり、国が示す整備指針を基本として施設の概要を決定していく予定である。

問 学校校舎建設の際に基本となる、定型的なモデルの作成状況はどうか。

答 (教育次長) 限られた予算の範囲内で施設整備費用や将来的な維持管理コスト等にも配慮する必要があることから、学校生活に必要な機能は確保しつつ、施設の維持管理が容易に行われるような構造、部材等を積極的に活用するなどして、第五中学校が今後の学校施設整備における標準的なモデルとなるよう事業を進めたいと考えている。

●その他の質問項目

1. 会計年度任用職員制度
2. 地産地消の推進と有機農業の振興

議事を傍聴しませんか

議 会では、皆さんの身近な問題や上田市の予算や政策など、さまざまな事柄について、活発な議論が交わされています。

- Q** 傍聴ができる方は？ **A** どなたでも議会の傍聴ができます。
- Q** 事前の手続きは？ **A** 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をして傍聴券を受け取ってください。氏名などをご記入いただく必要はありません。
- Q** 予約は必要？ **A** 必要ありません。
(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)



6月定例会は**6月8日** 開会予定です。
開会日の他、一般質問や常任委員会、閉会日を傍聴できます。

日程が決まりましたら、
6月上旬に市議会ホームページに掲載します。





犯罪被害者支援条例

池田 総一郎 (上志の風)

問 殺人事件や放火といった凶悪犯罪に不幸にして遭われた方々やそのご家族が、事件後に生活を再建しやすくするための支援が不可欠であることから、「犯罪被害者等支援条例」の制定が必要と考えるが、見解はどうか。

答 (市民まち) 上田市人権施策基本方針では、9つの分野別施策の方向性の一つに犯罪被害者等を挙げ、犯罪被害者等の状況に応じて、情報提供や精神的被害に対する相談など、関

係機関や団体と連携して適時適切な支援が行えるよう取り組んでいる。また、犯罪被害者等の皆さんの精神的ショックや経済的負担など苦悩があることを考え合わせ、支援に関する条例を制定している自治体の実例や条例の運用を参考に、国の支援制度や県の対応も注視しつつ、条例の内容や必要性について今後研究していきたい。

●その他の質問項目

1. 地域内分権
2. 英語教育



市立産婦人科病院の実情と今後の経営ビジョン

齊藤 加代美 (新生会)

問 常勤医師が2人体制となったが、経営面への影響や妊産婦側から期待できることは何か。

答 (健康こども) 安定した体制で診療ができるようになったことから、医業収益の一定の回復に期待している他、非常勤医師の雇用の調整も可能となったため、人件費の見直しによる経費節減に努める。また、以前と比べて固定的な医師の体制で診療の提供が可能となっ

たことから、安心して利用いただける環境が整ってきたものと捉えている。

問 令和2年4月から宿泊型産後ケア事業を新たに実施予定であるが、事業内容はどうか。

答 (健康こども) 産婦人科病院では出産後の母親と生後3カ月未満の乳児を対象に、空きベッドを利用して宿泊していただき、24時間常駐する助産師が健康管理や授乳指導、育児サポート等を行う。市民の方であれば利用可能。

●その他の質問項目

1. 子育てにやさしい上田として選ばれるための取り組み
2. 青少年の居場所づくり



独居高齢者向け終活支援

松山 賢太郎 (新生会)

問 終活情報事前登録制度や民間活力を生かした各種終活支援体制を構築する考えはあるか。

答 (福祉) 葬儀や死亡時の対応、延命治療方法など事前登録の内容は多岐に渡り、職員の対応や制度の市民周知、法律との関わりなど複雑な問題があり早急には難しい。2040年問題など多死社会への対応も迫られる中、終活意識の改革も必要と考え、近年取り組みの始まった先進自治体の調査研究に努めたい。

問 市内の宗教関係者に対し、無縁仏の葬儀や法要、遺骨の安置について協力要請してはどうか。

答 (福祉) 萬霊塔での供養は前向きに検討する旨の回答をいただいたお寺もあったが、遺骨の安置については檀家以外の対応はできないとのことから、引き続き霊園内の納骨堂への仮安置とし、萬霊塔の供養は市職員による献花など宗教色のない形で実施する。また、長年仮安置となっている遺骨を共同埋葬するルールづくりや新たな納骨堂の建設などについて今後検討する。



東日本台風災害

井澤 毅 (新生会)

問 復旧、復興に向けての現状と課題は何か。

答 (都市建設) 早期復旧に向けて鋭意取り組んでいるが、土木技術職員の確保が課題である。

問 長野県建設部土木技術職OBなどによって組織された、長野県防災サポートアドバイザー派遣制度を活用する考えはあるか。

答 (都市建設) 早期復旧に向けた心強い支援活動であり、積極的に活用してまいりたい。

問 上田市ホームページに掲載されている令和元

年東日本台風避難情報は、どのような情報を掲載しているか。

答 (政策企画) 上田市から配信したメールのうち、避難に関する情報を掲載している。

問 ホームページに掲載されている避難情報と上田市メールの内容が異なっているのはなぜか。

答 (政策企画) 誤解を招く表記があったことや、上田市メールで配信していない内容も掲載していたためである。今後情報発信の在り方を検討し、適切に発信していきたい。

●その他の質問項目

1. 地域交通



気候変動対策

西沢 逸郎 (新生会)

問 気候変動による農業への影響はどうか。また、農産物の生産体制をどのように維持していくか。

答 (農林) 平成 29 年の降ひょうによる甚大な被害の発生や 2 年連続の雪不足など、農作物への影響が懸念される。国連食糧農業機関によると、降雨や干ばつ、洪水等の極端な気象現象が飢餓増加の主な要因の 1 つとしており、平成 29 年には世界の 9 人に 1 人が飢え

に苦しんでいるとの指摘もある。当市においては、県の農業改良普及員や J A の営農技術員等による技術指導や情報の周知、農家自身の努力により、その年々の気象条件に対応した営農が行われている。また、気候変動に対応できる新品種や新技術等の普及促進に努めるとともに、防ひょうネット等の設置を支援し、気候変動に対応する強い農業と生産体制の維持、確立を図っていききたいと考えている。

●その他の質問項目

1. 巨大災害の切迫危機への対応
2. サントミュージゼを活用した文化政策の重要性

お知らせ



マチイロ

マチを好きになるアプリ



Android 版



ios 版

市議会だよりは、スマートフォンやタブレット向けのアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。

上のQRコードから、またはApp StoreやGoogle Playで「マチイロ」と検索して、アプリをダウンロードしてください。

上田市議会フェイスブックとツイッターでも議会の活動をお知らせしていますので、ぜひご覧ください。



Facebook



Twitter



有害鳥獣対策

佐藤 論征 (新生会)

問 猟銃免許所持者が減少する一方、わな免許所持者が増加していることから、捕獲おりとわなへの支援を手厚くするべきと考えるが、見解はどうか。

答 (農林) 捕獲おりとわなは捕獲の重要な道具であるため、可能な限り支援を行っていき考えである。また、補修用の資材などでもできる限り市で対応するとともに、最新の捕獲機器の導入などについても検討する。



上田市の教育

池上 喜美子 (公明党)

問 ICTを活用した効果的な授業の推進やGIGAスクール構想の実現、メディアリテラシー教育にどのように取り組むか。

答 (教育長) 一人につき1台のパソコンの導入などICT環境の整備には莫大な市の負担が伴うことから、市独自に実現可能な計画を立て機器の整備を進める。また、情報モラルに関する出前講座を実施している他、2月には市教育委員会で作成したリーフレットを配布

しており、学校や家庭でも活用していく。

問 これからの学校に求められる学びの改革に積極的に取り組む考えはあるか。

答 (教育長) 県の学びの改革実践校応援事業に小学校、中学校それぞれ一校が選定されており、小学校では通常の学級において個別の指導計画を作成し、授業のユニバーサルデザイン化に取り組む。また中学校では定期テストの在り方を見直し、中間テストを廃止して単元テストによる評価を行うとともに、企業や大学と連携して放課後学習や自主学習の場を設け、学力向上に取り組んでいく。



農福連携

小坂井 二郎 (新生会)

問 農福連携事業を実施するに当たり、農業分野のニーズを把握しているか。

答 (農林) 農業分野では担い手の高齢化や減少といった課題があることから、本事業を通じて障がい者の農業分野への参画が促進されることにより、貴重な担い手となることが期待される。

問 令和2年度の目標はどうか。

答 (農林) 喫緊の課題である担い手対策として本事業を進めるため、農業経営者が障がい

者の施設外就労を受け入れることを目標として進める考えである。このため、農家と福祉事業所をマッチングさせる専属コーディネーターを配置し、まずは農家の方々に農福連携の意義などの理解を深めていただき、その上で障がい者の特性を踏まえた福祉分野でできる作業の掘り起こしから着手し、一事例でも多くのマッチングを図っていきたいと考えている。

●その他の質問項目

1. スペシャルオリンピックス
2. 同和対策事業

GIGAスクール構想…児童生徒に一人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備などを実施する構想。
 学びの改革実践校応援事業…本校の課題解決に向けたシステム改革や授業改革に取り組もうとする意欲あふれる小・中学校を支援し、これからの社会を見据えた学校づくりや授業づくりの実現を目指す学校の拡大を図る事業。
 農福連携…障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。

みなさまからの陳情 2 件を審査

陳情番号	件名	提出者	審査結果
陳情第 1 号	資源循環型施設建設候補地撤回に関する陳情	茅野孝雄 氏 ほか 5 人	不採択
陳情第 2 号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子 氏	不採択

皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情として受け付けています。
提出された請願や陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

請願

所管する委員会に付託して審査を行います。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。請願を紹介する議員が必要です。なお、紹介議員は 2 人以内です。
※請願権は、憲法において基本的権利として認められています。

陳情

受理された場合は所管する委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。紹介議員は必要ありません。

記載要件

- ・日本語を用いること
- ・議長宛てであること
- ・次のことが記載されていること

趣旨、提出年月日、住所及び氏名（※法人の場合はその名称及び代表者の氏名）、請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印（※請願の場合）

趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

6 月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限

6 月 9 日(火) 午後 3 時

詳細は上田市議会ホームページをご覧ください



令和2年
1月

臨時会を開催



臨時会の会議録は、会議録検索システムからご覧いただけます。



令和元年東日本台風により被災した「別所線千曲川橋梁」

別所線千曲川橋梁復旧へ… 復旧経費・橋梁等の市有化

可決

令和元年東日本台風により被災した「別所線千曲川橋梁」の復旧工事を実施するため、災害復旧費8億6,680万円及び橋梁等の市有化、復旧工事に係る協定の締結の3議案が提出されました。

橋梁の経年劣化の状況や耐用年数、別所線の利用者増加に向けた施策などについて質疑を行うなど、慎重に審議を行った結果、全て全会一致で可決しました。今後、令和3年（2021年）春の全線復旧に向けて事業が進められていきます。

可決した議案

- 議案第1号 令和元年度上田市一般会計補正予算（第9号）
- 議案第2号 負担付き寄附の受納について
- 議案第3号 別所線千曲川橋梁等の災害復旧工事に関する協定の締結について



動き出した

政策 討論

上田市議会では、令和元年9月から「政策討論会」をスタートさせました。

令和元年度は、議会報告会などで市民の皆様からいただいた意見をもとに、厚生委員会及び環境建設委員会から提出された2つのテーマについて政策討論を行いました。



厚生委員会

テーマ「健幸都市の実現」

令和元年度は政策討論会を3回開催し、「生涯にわたる健康づくりを総合的に推進するために条例制定を目指す」ことで意見が一致したことから、令和2年度以降、条例制定に向けて取り組んでいきます。

環境建設委員会

テーマ「地域交通」

バス業界の経営環境の変化や令和元年東日本台風の影響による地域交通を取り巻く状況及び、市が担当組織を再編して実施していく取り組みを注視しつつ、討論に向けてさらに研究していきます。

政策討論とは…？

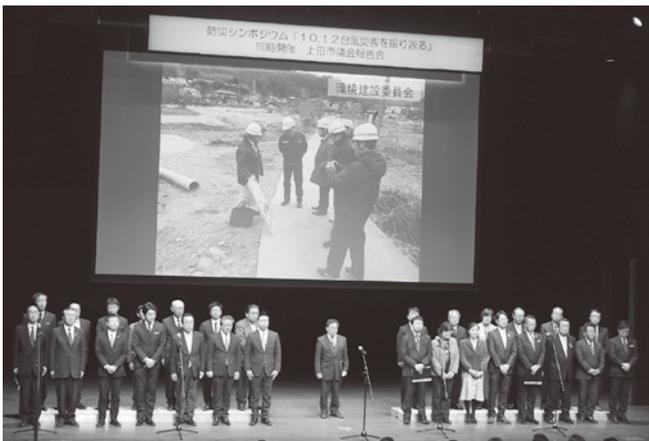
「上田市議会基本条例」の取り組みの一環として、政策立案及び政策提言などを目指して議員間で討議を行うもの。

安心安全な上田市に向け

「議会報告会」・「防災シンポジウム」を開催

令和元年東日本台風により上田市でも多大な被害が発生したことを受け、「災害・避難情報」をテーマに防災シンポジウム及び議会報告会を開催しました。

第1部では上田市議会からの報告、第2部では長野県危機管理防災課職員による講演、第3部ではパネルディスカッションを実施しました。当日は30名の皆様にご参加いただき、盛大に開催することができました。



上田市議会からの報告

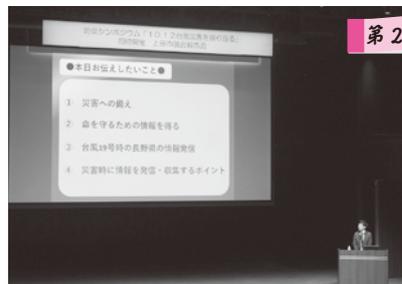
各常任委員会が実施した被害状況調査や関係団体との懇談の様子を報告しました。 **第1部**

- **総務文教委員会** 千曲川河川敷内に設置されているスポーツ施設の調査報告や危機管理防災課等市関係部署との懇談会について
- **産業水道委員会** 水道施設、林道、番所ヶ原スキー場の調査報告や信州うえだ農業協同組合等との懇談会について
- **厚生委員会** 上田市医師会、上田市私立保育園・認定こども園協会、上田市社会福祉協議会との懇談会について
- **環境建設委員会** 市道横沢角間線、丸子地域の馬坂橋流出現場、内村橋等の調査報告や上田市消防団等との懇談会について

基調講演

「『必ず助けます』災害時の情報発信とその対応」と題してご講演をいただきました。

東日本台風の際に長野県防災ツイッターで救助要請の呼びかけ等を行っていた経験から、「災害時に情報を発信・収集するポイント」や「SNS活用上のメリット・デメリット」などについて、当時の様子を踏まえてお話いただきました。



第2部

パネルディスカッション

自治会連合会会長、消防団団長、長野県危機管理防災課職員、上田市議会議長によるパネルディスカッションを実施しました。

自治会連合会会長からは避難場所の開設・運営などについて、消防団団長からは消防団の東日本台風の際の活動や今後の課題等をお話いただきました。



第3部

参加者からの声

● 防災シンポジウムの内容について

「よかった」75.7%
「なんとも言えない」15.1%
「よくなかった」0.4%
「無回答」8.8%

● ご意見



行政と議会が協力して防災について真剣に取り組んでほしい。議会対応がどうなっているのかもっと情報発信してほしい。



災害時の情報収集（自分が住んでいる地域）をどうするのか考えさせられた。



自治会連合会会長の話から、訓練を本気でやることの必要性を痛感した。

第2回 市議会だより 表紙デザインコンテスト

結 果 発 表

「第2回市議会だより表紙デザインコンテスト」には市民の皆様から18作品のご応募をいただき、選考の結果、次の作品が入選となりました。

入選作品は、市議会だより8月16日号（第79号）から順次掲載しますので、ご期待ください。

表彰名	作品タイトル	氏 名	掲載予定号
大 賞	唐沢の滝	村山 豊紀さん	令和2年11月16日号
議長賞	げんきにすごせますように	柳沢 俊介さん	令和3年 5月16日号
広報広聴委員長賞	夏のひととき	吉池 定則さん	令和2年 8月16日号
特別賞（早春賞）	上田の春を彩るチューリップ	蔡 家樂さん	令和3年 2月16日号
特別賞（永久賞）	数百年変わらぬもの	岡村由起子さん	令和3年 1月16日号

大賞



議長賞



広報広聴委員長賞



特別賞(早春賞)



特別賞(永久賞)



行政視察レポート

ICT推進議員連盟

タブレットの活用・ペーパーレスの取り組みを研究

ICT推進議員連盟と有志議員18名が長野市議会を訪れ、「タブレットの導入・活用」に関して視察を行いました。

長野市議会では、ICTに詳しい議員による「タブレット検討委員会」が平成29年8月に設置され検討を重ねた結果、以下のメリットがあることから、平成30年10月に議員一人につき1台のタブレット端末が導入されました。

- ①議員が調査等に使用するためのツールであること
- ②議員が市民等への説明に使用するためのツールであること
- ③情報伝達の迅速化につながる（災害時、どこからでも即時に現場からの情報提供や市からの情報収集が可能）
- ④紙や印刷代の削減等が可能であること

視察では、タブレット端末を実際に操作するとともに、議員向けの習得講習や経費削減効果などについての質疑が行われました。



表紙デザインコンテスト受賞者の声

このたびは栄誉ある賞をいただき、ありがとうございました。

「武石余里の花桃は素晴らしいから一度行くと良いよ」と仲間内での話には聞いていたのですが、一昨年初めて行き魅了され、5回も足を運びました。「桃源郷」です。

夕暮れ時、四阿山が夕日に染まる頃の花桃が一番好きです。